



先生のおすすめ絵本

こんとあき

〈作〉 林 明子 〈出版〉 福音館書店

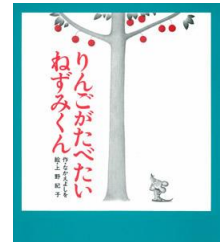


あきのおばあちゃんが作ったきつねのぬいぐるみ、こん。こんとあきは生まれたときからずっと一緒に過ごしてきましたが、あきが成長するにつれ、こんは古びて腕が綻びてしまいます。そんなこんをなおしてもらうために、こんに励まされ、守られ、助けられながらおばあちゃんの家に向かうあき。でも、その道中、電車でしっぽをドアに挟まれたり、犬に連れさられたりと何度も大変な目にあい、どんどんポロポロになっていくこん。そして、今度はあきがこんを助けようと頑張る、こんとあき 2 人の冒険のお話です。ひまわり組の子どもたちは、おばあちゃんがこんをなおすときに言う「おやおや、てもあしもぶらぶら。うではほどけて、おまけにしっぽもぺちゃんこ」という言葉が気に入ったようで、この言葉をつぶやきながら自分の手足をぶらぶらさせたり、子どもたちにしか見えない自分たちのしっぽをなでたりと、この場面のこんになりきって遊んでいます。「また読んで！」と子ども達からのリクエストの多い、ひまわり組お気に入りの一冊です。 〈ひまわり組 O 先生〉

りんごがたべたいねずみくん

〈作〉 なかえ よしを 〈絵〉 上野 紀子 〈出版〉 ポプラ社

子どもが「これ読んで」と持ってきて、部屋でくり返し楽しんでいる絵本です。高い木になっているりんごが食べたいねずみくんは、大きな動物たちがりんごをとっている姿を憧れの気持ちいっぱい眺め、後ろ手を組んでいます。一生懸命に体を張ってりんごをとりたいと願うねずみくんの動きのある絵の繰り返しに皆でくすくすと笑ってしまいます。



『ねずみくんのチョコッキ』『ねずみくんとブランコ』も合わせて人気です。こちらは繰り返しのフレーズを子どもも一緒に読み手になって、感情を入れて発している姿や、いばりんぼうのキャラクターに対して文句を言う姿とてもかわいらしくて、私も読むのがいつも楽しみです。 〈あひる組 O 先生〉

読み聞かせノートより

わるいことがしたい

〈作〉 沢木 耕太郎

〈出版〉 講談社



わるいことってどんなこと？家中よごして大騒ぎ！絵を見た瞬間にニコニコ、ニヤニヤしている子ども達。「こんな子いる？」の質問に「〇〇くん」「いな～い」と色んな反応を示してくれました。親にとっては「やめて～!!」と思うことですが、子どものパワーがすごく感じられるステキな絵本だと思いました。 〈ふじ組 N〉

はなのあなのはなし

〈作〉 やぎゆうげんいちろう

〈出版〉 福音館書店



人の鼻の穴の働きや仕組みについて分かりやすく書いている絵本です。少し長くて難しいかなと思いましたが、絵のマネをしたりしながら楽しく聞くことができました。特に鼻づまりのマネで鼻をつまんで読むところは、みんなマネをしたり恥ずかしがったり、先生も笑いながら聞いていて、読む方も楽しくなりました。 〈たんぼ組 I〉

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。



色々なクラスで読み聞かせをやらせてもらった今年度、何よりも感じたのは、子ども達はみんな絵本が大好きだということでした。ちょっと難しいかな？と思った本でも、みんな一生懸命聞いてくれて、読み手側もとても楽しい時間を過ごさせてもらいました。最後に私のお気に入りの絵本を 1 冊ご紹介します。ジョン・ヴァーノン・ロード作、安西徹雄訳の『ジャイアント・ジャム・サンド』。子どものころから大好きな絵本です。そのジャムサンドがどんなにジャイアントか気になる方は、絵本の部屋にもありますので、ぜひ一度手にとってみてください♪

〈30 年度プレーメン代表 もも組 S〉